



安全検査マーク

おもちゃ花火



ルールを守って楽しい花火

① 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。

花火遊びにもルールがあります。“ぜったいに手にもって使用してはいけない花火”（打上げ花火等）があります。説明をよく読みましょう。

事故事例 使用方法の間違い

兵庫県 男性 48才

スマーキュボールを手に持って点火したところ発煙し、手を火傷。

② 花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所で遊んだりしないようにしましょう。衣服に火がつかないように注意しましょう。

花火遊びをするときは、筒先の方向・場所などに十分に注意しましょう。衣服が燃えると大きなヤケドとなることもあります。

事故事例 火災

新潟県 中学3年 男子

自宅前でロケット花火をしていたところかやぶき屋根の上に落ちて出火。

③ 手持ちの筒花火は、手の位置に注意しましょう。

手持ちの吹き出しものは、筒底を握らず、筒の中程より少し下をもち、体から離して使用すると安全です。

④ 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。

風の強いときは、遊ばないことです。点火の際は、体を風上にして、風下の人が火の粉をかぶらないよう、風の方向に注意しましょう。

⑤ 水を用意しましょう。

バケツの水に終った花火をつけましょう。残り火を完全消火し、燃えかすで庭や道路をよごさずにします。途中で消えた花火は水につけましょう。

使用方法・警告・注意を守ろう!



“花火遊びは、迷惑にならないルールとマナー”

●時間、場所についての条例を守りましょう

（神奈川県条例、芦屋市条例、鶴川条例など）

●音の出る花火は、人の迷惑にならない場所と時間を選びましょう

高く上がって音のする花火は、マンションなどに飛び込んで破裂し驚かせ、ケガをした例があります。

飛しょうするものは、飛ぶ方向と音に気を付けましょう。

●風向きを考え、煙で迷惑にならないようにしましょう

夏は窓を開けている家も多いので、煙が入らないように風向きに気をつけましょう。

●花火は危険物。郵送、飛行機への持ち込みはできません

おもちゃ花火は危険物です。郵便法、航空法の指定により、郵送と飛行機への持ち込みができません。ご注意ください。クリスマスクラッカーを持ち込んだため飛行機の離陸がおこれた例があります。

